

さいたま市推薦企業の「九都県市のきらりと光る産業技術」表彰企業一覧

	製品・技術の名称 企 業 名	製品・技術の概要
令和2年度	5G通信用半導体生産に適応したリフトオフ装置 株式会社エイ・エス・エイ・パイ(西区)	従来より保有していた高圧処理による洗浄技術に加えて、特殊ヒーターを使ったりサイクル式温調システムを当該製品に搭載したことにより、使用する薬液の量を増やすことなくより微細且つ複雑な5G通信用半導体の生産に適応できます。また、各種センサやモーターの機器をネットワーク化することで生産に関わるデータを収集できるようにしトレーサビリティやデータ解析といった品質向上の図れる機能を搭載しています。
令和元年度	4K・8Kカメラ用高精細レンズ・プリズム光学系の設計、製造技術 武蔵オプティカルシステム株式会社(見沼区)	4K・8Kカメラ用高精細レンズ・プリズム光学系の設計、製造技術を共に保有している数少ないメーカーです。撮像素子を固着させるには、プリズムに対する高い位置精度及び固着技術が求められます。当社では独自開発した固着装置により、4K・8Kに対応する高精度な色再現性を実現するプリズムの製造が可能です。
平成30年度	内径にディンプルを付与した高効率含油軸受 ポーライト株式会社(北区)	自動車や家電機器に使用される小型モータの部品である焼結含油軸受の内径表面に複数の微細な凹み(ディンプル)を形成することで、軸受の摩擦係数を大幅に低減し、小型モータの消費電力低減に大きく貢献します。また、特殊加工工具と加工機械を開発し、月産50万個を超える大量生産を可能としています。
平成29年度	超細径内視鏡 株式会社住田光学ガラス(浦和区)	自社のコア技術を結集した、挿入部がφ1mm以下の内視鏡。部品として使用しているイメージファイバー〔HDIG〕は、φ0.35mmという極めて細い外径でありながら1万画素を有し、対物レンズも自社で光学設計から行った非球面レンズを搭載しています。そのため、超細径かつ高画質な内視鏡であり、【視認治療＝安全性の向上】や【低侵襲治療＝QOLの向上】が期待できます。
平成28年度	ヒト肌に限りなく近い質感をもつバイオスキンを用いた乳がん検診モデル 株式会社レジーナ(浦和区)	人の皮膚にきわめて近い質感をもった人工皮膚を用いた乳がん検診モデル。しこり(模擬がん)を感触と視覚で確認できることで、検診の重要性を啓発し、検診へと導くことを容易にする。
平成27年度	超小型5軸ミーリングセンタ PM250-5X 株式会社長谷川機械製作所(見沼区)	「小物高精度部品の加工には、小型機が適する」という設計思想のもと、小型・高精度化に対応する、スペース効率の良い、機械幅750mmのクラス世界最小の5軸ミーリングセンタ“PM250-5X”を開発。小物精密部品の切削加工を拘束・高精度に実現し、省スペース・省エネルギーに貢献する。
平成26年度	電気接点用フッ素グリース ハーベス株式会社(浦和区)	主に自動車部品の電気接点に塗布して、電気接点の摩耗を防ぐと同時に接点表面保護を兼ねる潤滑剤である。原材料の自社加工及び独自の製造工程と品質管理手法により、高性能化と高い信頼性を実現している。
平成25年度	光通信用高密度超精密コネクタ 株式会社日新化成(西区)	高密度実装化と高寸法精度化に対応した光通信用多心コネクタ。インターネットの急速な普及とビッグデータ処理能力向上の要求に応えることが可能。従来製品との比較で倍以上の高密度実装コネクタの量産を実現。
平成24年度	金属箔切断用超精密カッター ホツカイエムアイシー株式会社(北区)	リチウムイオン電池工程で使用される金属箔を精密に切断するためのカッターを製作。超精密加工技術を応用し平面度1μm以下の精度を実現。
平成23年度	半導体レーザー向け製品 後藤精工株式会社(中央区)	薄い原材料を盛り上げることによって立体形状を作る斬新で高度な加工法により、ミクロン単位の製品寸法精度でプレス加工を実現。半導体産業をはじめ多様化するニーズに応える。